

「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～ 第3回

1. 実施日

令和3年5月22日（土）1・2限

2. 場所

331 教室、332 教室、333 教室（配信）
325 教室（乾先生）

3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）

4. 講師

京都橘大学経済学部経済学科 准教授 乾明紀先生

5. 内容

講義及びワークショップ

「チーム探究を充実させるために」（対面とオンラインのハイブリッド型）

- (1) イントロダクション
- (2) なぜ探究活動をおこなうのか？
- (3) なぜ予備調査が必要なのか？
- (4) 研究計画書を作成する際のポイント
- (5) チーム探究とリーダーシップについて
- (6) チームで研究計画書づくり

6. 学び

課題研究の必要性を確認し、主体的に課題研究に取り組む意欲を高める。研究テーマ（仮）が妥当かどうかを検証し、リサーチクエスチョンを導くには、「どこの？」「誰の？」「いつの？」「どのように？」といった小さな問いで、研究テーマを掘り下げていく必要があることを学ぶ。研究対象への理解が深まるとシャープなリサーチクエスチョンを設定することができることを学ぶ。

7. 次回への課題

「研究計画書」Ver.1 作成に向けた情報収集を各自で行う。

8. 授業の振り返り

映像配信で聴講する生徒も熱心に話を聴いていた。講義後すぐに「研究計画書」の作成タイムがあったので、教わった「理論」をすぐに「実践」に移すことができた。生徒の主体的な学びを促すためには、このような展開が望ましいと思われる。オンラインでの実施にあたり接続のトラブルがあったことは教員側の反省点である。